

1 法人の概要

代表者職氏名	代表取締役 加藤 清美	所管部課名	観光文化スポーツ部観光戦略課
所在地	横手市赤坂字富ヶ沢62-46	設立年月日	平成5年5月18日
電話番号	0182-33-8800	ホームページ	http://www.akitafurusatomura.co.jp
主な出資 (出捐)者	出資(出捐)者名	出資(出捐)額(千円)	出資(出捐)比率(%)
	秋田県	250,000	50.5%
	横手市	54,000	10.9%
	羽後交通(株)	50,000	10.1%
	その他3市町村、26団体	141,000	28.5%
	合計	495,000	100.0%
設立目的	本県の文化遺産の継承、新たな郷土文化の創造拠点として、この二つの機能を十分に生かし相乗効果による県民文化の向上と地域産業の振興を図ることを目的に県等の出資により設立。		
事業概要	秋田ふるさと村の管理運営		
事業に関連する法令、県計画			

2 H26年度事業実績(前年度評価を踏まえた取組内容を含む。)

開村から20周年を迎える感謝の気持ちを、当社が取り組む成長戦略ステップアップビジョンの様々な事業に反映し実施した。その他、春に大規模リニューアルを果たしたスペースは、天文ファンに止まらず幅広い客層から支持を集め施設利用を大きく牽引した。さらに、集客が見込まれる「国民文化祭」に対しては、事前PRや各会場への案内など来県者へのサービスと開催会場としての運営に積極的に取り組み、集客、収益両面で効果をあげた。

<事業目標>

項目	区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
自主事業収入(千円)	目標	282,121	286,471	280,000	314,189
	実績	264,101	274,438	306,897	-
入村者数(人)	目標	730,000	680,000	630,000	600,000
	実績	620,212	583,948	583,634	-
顧客満足度指数 ※H27年度追加目標	目標				80
	実績				-

3 組織

①役員数(H27.7.1現在) (単位:人)

区分	取締役		監査役		役員報酬
	H26	H27	H26	H27	
常勤	2	2			支給対象者 (H26年度) 3人
内、県退職者	2	2			
内、県職員					
非常勤	7	7	1	1	平均年齢 62.5歳
内、県退職者					平均報酬年額 (H26年度) 2,166千円
内、県職員	1	1			
計	9	9	1	1	
内、県関係者	3	3			

②職員数(H27.4.1現在) (単位:人)

区分	H26	H27	正職員
正職員	21	22	
内、県退職者			
出向職員			平均勤続年数 12.9年
内、県職員			
臨時・嘱託	11	12	平均年収 (H26年度) 3,323千円
内、県退職者			
計	32	34	
内、県関係者			

③取締役会回数

H25	H26
4	4

4 財務

①損益計算書 (単位:千円)

区分	平成25年度	平成26年度
売上高	513,995	526,646
売上原価	300,597	298,919
売上総利益	213,398	227,727
販売費及び一般管理費	206,479	224,306
人件費(売上原価含む)	109,631	121,402
営業利益(損失)	6,919	3,421
営業外収益	2,215	3,996
営業外費用	468	89
経常利益(損失)	8,666	7,328
特別利益	3,310	2,805
特別損失	440	3
法人税、住民税・事業税	6,239	4,854
当期純利益(損失)	5,297	5,276

②貸借対照表 (単位:千円)

区分	平成25年度	平成26年度
流動資産	534,418	634,038
固定資産	122,624	32,622
資産計	657,042	666,660
流動負債	81,239	84,866
短期借入金		
固定負債	16,466	17,181
長期借入金		
負債計	97,705	102,047
資本金	495,000	495,000
利益剰余金等	64,337	69,613
純資産計	559,337	564,613
負債・純資産計	657,042	666,660

(単位:千円)

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率(%)
	17,181	17,181	100.0%

<主な経営指標>

項目	算式	平成25年度	平成26年度	H25-26増減
経常収支比率	経常収益÷経常費用×100	101.7%	101.4%	△0.3%
流動比率	流動資産÷流動負債×100	657.8%	747.1%	89.3%
自己資本比率	純資産計÷負債・純資産計×100	85.1%	84.7%	△0.4%
有利子負債比率	有利子負債÷純資産計×100			

5 県の財政的関与の状況 (単位:千円)

区分	平成25年度	平成26年度	支出目的・対象事業概要等
補助金	1,000	1,000	少子化対策応援ファンド事業
委託費	82,489	60,668	近代美術館維持管理業務委託、地域の魅力発信事業等
指定管理料	156,068	156,068	秋田ふるさと村指定管理料
貸付金			
損失補償			
その他の財政支出(基金等)			

I 自己評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
B 国民文化祭や県からの受託事業など、県や周辺市町村と連携した大型行事の開催、また、それに伴う全県的な情報発信を実施した。	A 県からの出向役員とプロパーの管理職、また、専門知識を有した正社員スタッフをバランスよく配置している。また、専門性の高い人材育成にも注力している。	B 20周年記念事業を年度計画に盛り込み複数実施した。スぺーシアのリニューアルに伴い、幅広い層へPRを実施し大幅に利用者が増加したが、入村者数の目標値には届かなかった。	A 連続で単年度黒字を達成し、累積欠損を解消済みである。

II 所管課評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
B 県関与の縮小に位置付けられている法人であるが、県や周辺市町村との連携事業を行うなど一定の公共的役割を担っている。	A 取締役会は4回開催されており法定回数を満たしている。常勤の役員がおり体制は整っている。充て職の役員は毎回取締役会に出席している。常勤の職員がおり体制は整っている。	B 自主事業収入は前年度実績を上回り目標も達成しているが、入村者数は前年度実績とほぼ同じで目標を下回った。	A 単年度損益が黒字であり累積債務もないことからA評価とする。なお、県からの補助金を受けているが、これは県からの依頼によるイベントの開催経費であり財政的援助ではない。

III 外部専門家のコメント

- ・増収かつ当期利益もほぼ前年並みを確保しており、収支は安定している。
- ・利益剰余金残高はH27年3月末で69,613千円と期間損益の水準に比して十分であり、財務基盤は安定している。
- ・入村者数の落ち込みを食い止めることが課題。観光アトラクションとしての機能のみならず、より幅広いコンセプトのもと、施設利用目的を多様化することで利用者の幅を広げる戦略も検討の余地がある。

IV 委員会評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
B 三セクの行動計画では、民間委託が可能な事業を主たる事業とし非三セク化を目指す法人に位置付けられているが、公の施設の管理者として、県事業に一定の役割を持つことから、引き続きサービスの維持・向上を図っていくことが求められる。	A 適切であると認められる。	B 平成27年2月に取りまとめられた「秋田県ふるさと村の今後のあり方等に関する提言」に基づき、観光拠点及び郷土文化の拠点として、地元利用及び観光利用の促進に向けた多様な取組が求められる。	A 適切であると認められる。販売費及び一般管理費が増加傾向（営業利益が減少傾向）にあることから、更なる経費の抑制が望まれる。

○H27年度重点取組法人に 選定 する・ **ない**